

様式1

教科用図書第3採択地区調査委員会

(社会・地図) 小委員会委員長

岡 健



調査研究・審議の経過	1 審議の対象となった発行者名及び数 ・東京書籍、帝国書院の2者 2 調査研究の手順 ・第1回調査委員会（7月9日）で2者の地図を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第2回調査委員会（8月7日、8日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式2～6を作成した。 3 調査研究のための観点、項目 ・取扱内容については、各分野の目標が達成できるように、どのような学習活動が取り上げられているか、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応についてという視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列については、どのように系統的、発展的に学習ができるよう工夫されているか、という視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、生徒の学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組むことができるような工夫、使用上の便宜が図られているかという視点で調査し整理した。
全体を通じての特徴	1 東京書籍については、「江戸・東京の鳥瞰図」など、歴史や地形を視覚的にとらえることができる見開き全体を使った資料を掲載したり、調べ学習や修学旅行で活用できる地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高めるという特色があり、優れている。 帝国書院については、世界の各州に、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、修学旅行や平和学習に活用できるイラストの入った地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高めるという特色があり、優れている。 2 このほか、以下の話題も出されていた。 SDGs をテーマにしたページに関連資料を掲載したり、考察できるコーナーを設けたりするなど、工夫されている。 1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。

社会の目標について
【教科の目標】 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
【学年・分野・領域等の目標など】 〔地理的分野〕 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。 〔歴史的分野〕 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。 〔公民的分野〕 現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく

認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

【参考】

○ 目標の改善

中学校社会科における目標については、小学校社会科との接続はもちろん、高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。

具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

○ 標準授業時数

地理的分野－115 単位時間 歴史的分野－135 単位時間 公民的分野－100 単位時間



様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		2・東書	第1・2・3学年	地図・002-72	新編 新しい社会 地図
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界全図」において、海洋や極地に着目した地図から地球全体の姿を比較したり、地形や気候を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、学習テーマに沿って、地域や経年変化を比較したり、国名や主要な都市名、自然地名を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界の地形や気候、人々の生活や文化、産業などを調べたり、複数の資料から特色を読み取ったりする活動 ・「日本全図」において、各地の祭りや伝統工芸品などを調べたり、領土をめぐる問題を抱えている島々を地図や写真で示し、日本の領域を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、縮尺を100万分の1に統一した地図から、距離感や地形を比較したり、様々なスケールで日本の土地利用を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、地形、降水量、人口分布、土地利用などの主題図から基本的な情報を読み取ったり、日本で起こりやすい災害を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連させて捉えたり、考えを広げたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、三分野の学習に活用できる主題図において、現代の諸課題に関連する資料を掲載したり、歴史に関連する場所を示す「歴史の舞台」を充実するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。				
使 用 上 の 配 慮 等	○ 「江戸・東京の鳥瞰図」など、歴史や地形を視覚的にとらえることができる見開き全体を使った資料を掲載したり、調べ学習や修学旅行で活用できる地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。(全学年) ○ SDGsをテーマにしたページに関連資料を掲載したり、地図の活用法や学習を深める問いを提示した「Bee's eye (ビーズアイ)」のコーナーを設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。(全学年) ○ 全ての生徒にとって、視認性の高いユニバーサルフォントを使用したり、グラフや地図などでは、見分けやすい色を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。(全学年)				
そ の 他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。				

様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		46・帝国	第1・2・3学年	地図・046-72	中学校社会科地図
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界全図」において、日本中心の地図とヨーロッパ中心の地図を比較したり、地域の時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、同じ縮尺の図から地域の特色を比較したり、世界各地の環境問題の取組を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界各州の自然環境や生活・文化、歴史、産業などを調べたり、世界と日本とのつながりを読み取ったりする活動 ・「日本全図」において、各地の伝統工芸品や世界文化遺産を調べたり、北方領土、竹島、尖閣諸島についての資料から日本固有の領土を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、地域の変化の様子を捉えられるよう、昔と今の地域の様子を比較したり、50万分の1図において、土地利用を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、自然、降水量、人口分布、産業、工業・交通の5図から分布の特徴を読み取ったり、自然災害や防災の取組を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「地図で発見！」のコーナーを設け、地理的な見方・考え方を働かせる問いを追究したり、考えを説明したりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、歴史的分野及び公民的分野の学習と関係が深いページにおいて、「歴史アイコン」「公民アイコン」を示し、他分野の学習に活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。				
使 用 上 の 配 慮 等	○ 世界の各州に、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、修学旅行や平和学習に活用できるイラストの入った地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○ 地図帳の見方・使い方を解説した「この地図帳の凡例」「この地図帳の使い方」を掲載したり、SDGsについて考察できる「SDGsアイコン」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、カラーユニバーサルデザインに対応した色彩表現にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）				
そ の 他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。				

様式 4

＜地図の具体的な調査項目＞

◎調査項目

- | |
|--|
| <p>① 内容（「世界の諸地域に関する内容」「日本の諸地域に関する内容」「資料・統計等」）ごとのページ数及び総ページ数</p> <p>② 自然災害及び防災に関する内容について取り上げているページ数</p> <p>③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数及び箇所数</p> <p> (1) アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数</p> <p> (2) 北方領土に関する内容を取り上げているページ数</p> <p> (3) 道内の市町村等を取り上げている箇所数</p> |
|--|

◎調査項目にした理由

- | |
|---|
| <p>① 学習指導要領に示されている地理的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。</p> <p>② 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成に向けて、防災を含む安全に関する教育の充実が求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。</p> <p>③ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。</p> |
|---|



様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 6 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者	東書	帝国
①	内容ごとのページ数及び総ページ数	世界の諸地域	ページ数	61	62	
			全体に占める割合	35%	31%	
		日本の諸地域	ページ数	64	78	
			全体に占める割合	36%	40%	
		資料・統計等	ページ数	51	58	
			全体に占める割合	29%	29%	
		総ページ数			176	198
		前回の総ページ数			192	188
		増減			-8%	5%
②	自然災害及び防災に関する内容について取り上げているページ数			11	21	
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数及び箇所数	アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数		7	6	
		北方領土に関する内容を取り上げているページ数		10	16	
		道内の市町村等を取り上げている箇所数		69	101	

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

様式 6

様式 5 の調査項目③「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者 館	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書 アイヌの人たちの歴史・文化等	北海道地方南部（P122）	一般図	・コシヤマインの戦い（位置）
	北海道地方南部（P123）	一般図 一般図 一般図 一般図 一般図	・シャクシャインの戦い（位置） ・アットウシ（位置） ・二風谷アイヌ文化博物館（位置） ・二風谷アイヌ資料館（位置） ・国立アイヌ民族博物館（位置）
	北海道地方（P127）	一般図 一般図	・シャクシャインの戦い（位置） ・アットウシ（位置）
	北海道地方（P128）	囲み	・北海道の地名についてアイヌ語の由来を調べるよう説明
	北海道地方の資料（P130）	資料図	・アイヌ語由来の地名についてアイヌ語の地名及びその意味を記載
	世界と日本の文化（P138）	資料図 写真	・日本の文化を示す資料において、二風谷アットウシの位置などを記載 ・アットウシ
	日本の統計（P160）	表	・伝統的工芸品として、二風谷アットウシ、二風谷イタを示す
	東アジア（P22）	一般図	・国後島、択捉島の位置などを示す
	ロシア連邦（P42）	一般図	・国後島、択捉島の位置などを示す
	北海道地方南部（P124）	一般図	・国後島の位置などを示す
北 方 領 土	北海道地方（P128）	一般図 一般図	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す ・千島列島の周辺にある島々として、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す
	北海道地方の資料（P129）	資料図 資料図 資料図	・北海道の地形を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載 ・北海道の人口分布を示す資料において、択捉島の位置などを記載 ・北海道の土地利用を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
	北海道地方の資料（P130）	資料図 資料図	・北海道の地形と自然災害を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載 ・アイヌ語由来の地名を示す資料において、歯舞群島の地名の由来などを示す
	日本の自然環境（地形）（P132）	資料図	・日本の地形を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
	日本の周辺（P172）	一般図 写真 囲み	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す ・択捉島 ・北方領土は日本の固有の領土であるが、ロシアが不法に占拠していることを説明
	都道府県の区分、旧国名（P173）	資料図	・都道府県の区分を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載

		日本列島 (P176)	一般図	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す
帝国 アイヌ の人 たち の 歴 史 ・ 文 化 等 北 方 領 土	アイヌの人たちの歴史・文化等	北海道地方南部 (P146)	一般図	・ウポポイ (民族共生象徴空間) (位置)
		北海道地方南部 (P147)	一般図 一般図 一般図 一般図	・二風谷アイヌ文化博物館 (位置) ・アットゥシ織 (位置) ・アイヌの木工品 (位置) ・シャクシャインの戦い (位置)
		札幌市とそのまわり (P150)	一般図	・ウポポイ (民族共生象徴空間) (位置)
		北海道地方の資料 (P154)	資料図	・北海道のアイヌ語地名、アイヌ語の意味などを記載
		日本の歴史・生活・文化 (P173)	資料図	・シャクシャインの戦い (位置)
		日本の統計 (P181)	表	・おもな伝統工芸品としてアットゥシ織を示す
	北方領土	世界の国々 (P2)	一般図	・択捉島の位置などを示す
		アジア州 (P24)	一般図	・国後島、択捉島の位置などを示す
		東アジア (P28)	一般図	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す
		東アジアと日本の交流の歴史 (P35)	一般図	・大陸から見た国後島、択捉島の位置などを示す
		ロシア連邦とそのまわりの国々 (P60)	一般図	・国後島、択捉島の位置などを示す
		太平洋・インド洋 (P75)	一般図	・択捉島の位置などを示す
		日本列島 (1) (P82)	一般図 写真 囲み	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す ・知床半島から見た国後島 ・北方領土は日本の固有の領土であるが、ロシアが不法に占拠していることを説明
		北海道地方 (P151)	囲み	・北方領土の島々の形を紙に写し取り、北海道の他の地域と重ねて広がりを確認するよう説明
		北海道地方 (P152)	一般図 一般図 資料図	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す ・千島列島の周辺にある島々として、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す ・日本とロシア・ソ連の国境の変遷において歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島が日本の領土であることを記載
		北海道地方の資料 (P153)	資料図	・北海道の自然を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
		日本の地形 (P156)	資料図	・日本の地形を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
		日本の自然災害・防災 (1) (P160)	資料図	・日本の地震と火山の分布を示す資料において、国後島、択捉島の位置などを記載
		日本の自然災害・防災 (2) (P162)	資料図	・日本の気象災害を示す資料において、国後島、択捉島の位置などを記載
		都道府県と昔の国名 (P196)	資料図	・都道府県を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
		日本の領土とそのまわりの国々 (P197)	写真 一般図	・日本の北端・択捉島 ・日本の北端である択捉島の位置などを示す
		日本の領土とそのまわりの国々	一般図	・日本の領土とそのまわりの国々を示す地図に

	(P198)		において、北方領土として歯舞群島、色丹島、 国後島、択捉島の位置を示す
--	--------	--	--

